

第5回 増田誠大賞決定！



応募総数は311点

都留市で生まれ、ふるさとをこよなく愛しつづけた、故増田画伯。パリを舞台に国際的画家として活躍され、都留市名誉市民第1号となった増田画伯を偲んで制定された、増田誠大賞も今年で記念すべき5回目を迎えました。

今回の増田誠大賞には、市内から応募総数311点の力作が寄せられ、厳正なる審査の結果、一般の部の大賞には、夏狩にお住まいの清水初枝さんが、中学生の部では、東桂中学校2年生の小林真理さんが、小学生の部では、禾生第一小学校1年生の野木駿矢くんがそれぞれ選ばれました。



一般の部大賞

「ひまわり」 清水初枝さん

絵を始めたきっかけは、十七年前のPTA活動でした。

親も参加できる活動として、絵の勉強を始め、今ではすっかりその魅力に取り付かれています。

今回の作品は、友人にいただいたひまわりが、あまりにもいきいきとして活力に満ちているので描いてみました。

絵を表現するには、自分自身が気持ちの上で若々しく、何を見ても感動できるような心もちづけることが大切だと思います。

これからも、生涯の趣味として描きつづけ、素敵なおばちゃんになれたらと思います。

